

中部運輸局交通政策部

平成29年12月26日発表



公共交通の先進的な取組を
支援等しています

http://www.tb.mlit.go.jp/chubu/minpro_ex/

連絡先

国土交通省中部運輸局交通支援室
伊藤、神戸、渡邊
TEL 052-952-8050

運輸事業者の健康診断！？

—「鉄道・バス・タクシー」の横断的な「輸送動向調査」を初実施—

中部運輸局では、地域公共交通の担い手の経営環境や輸送トレンドを把握すべく、地域公共交通に欠かせない「鉄道・バス・タクシー」を対象に、モード横断的な事業者動向調査（「輸送動向調査」）を今年度初めて実施しており、その概要を報告いたします。

【背景・目的】

- 人口減少、少子高齢化、運転士不足などの進展により、突然の路線廃止や廃業、企業再編など、地域公共交通に影響を与える事案の発生が懸念される
- 中部運輸局としても、突発事案の発生を事前に察知するため、モード横断的に、経営動向や輸送動向についてヒアリングを実施したもの

【結果概要】

- 多くの事業者において、担い手の確保が課題となっており、バス・タクシーでは乗務員不足による減便、減収等が見られた
- 愛知など、一部地域においては通勤需要の増加による鉄道・バスの利用者増が見られるが、全般的には少子化による通学需要の減少に伴う利用減が顕著
- 観光（企画）列車の運行、自治体と連携した高齢者・学生向けの運賃補助等の施策が、利用減に歯止めをかけている例もあり、好調の要因については精査が必要

【今後の取組】

- 喫緊の課題である担い手不足の解消に向け、「中部運輸局人材確保・育成対策推進本部」において、官民連携した取組を推進
- 高齢者・学生に対する補助等のソフト施策については、「みんプロEX」成功事例としての横展開を予定



【調査の詳細】

- 手法：輸送概況、経営状況、今後の見通しなどをアンケートにより聴取の上、特記事案についてヒアリングを実施
- 対象：バス・タクシーは下記の主要な事業者を対象とするとともに、鉄道については、地域に与える影響を鑑み地域鉄道全社を対象とした

鉄道	―管内の地域鉄道全20社
バス	―管内の保有車両総数30台以上の乗合事業者
タクシー	―各県タクシー協会正副会長会社

【結果詳細（モード別）】

○ 鉄道 ― 対象：地域鉄道事業者20社

- 都市部の事業者では通勤定期の増加傾向が見られるが、地方部では、学生の減少などによる通学定期の減少傾向がみられる
- 多くの事業者では、観光（企画）列車の運行を開始しており、定期外収入の増加に一定の寄与が見られる



○ バス ― 対象：乗合バス事業者17社



- 雇用情勢の改善から一部（愛知）では通勤定期が増加するも、全般的には通学客の減少や運転者不足によるダイヤ削減などにより利用減
- 交通弱者（学生、高齢者）に対する自治体の支援策により、利用増が見られる事業者も存在（愛知、福井）

○ タクシー ― 対象：27社

- 乗務員不足による稼働率の低下により営業収入が減少する事業者が多数存在
- 乗務員不足、乗務員の高齢化に伴い、特に深夜帯等における稼働車両の確保に課題が生じている地域も存在
- 一部事業者では、コンサルタントと契約するなど、人材確保に向けた先駆的な取組が見られる

